

## 札幌市立大学人材育成教育プログラム（通称「G×D プロジェクト」） SCU Green Transformation x Digital Innovation Program

### ■概要

札幌市立大学デザイン学部では、高度で多様な社会の要請に応える専門的な人材を育成することを目的に、以下の2つの人材育成プログラムを実施しています。このプログラムは2024年度入学生より適用されています。

### ■プログラムの目標

#### ①環境共生型人材育成教育プログラム（以下、㊟と表す）

地域の自然環境に配慮したデザイン、持続可能なシステムの開発・運用などに関する専門知識や技術を修得し、市民・企業・研究機関・自治体の活動との連携によって、次世代に求められる環境共生社会のリーダーを担う人材を育成する。現在、多くの企業・自治体に取り組んでいるGX（Green Transformation）に対応できる人材育成プログラムです。

#### ②イノベーション人材育成教育プログラム（以下、㊠と表す）

社会が常に大きく変化し、産業・技術革新が世界的に進み、競争が激化している現代において企業が成長を維持したり、社会問題を解決したりするためにはイノベーションの推進が不可欠であり、それに必要なプログラムを開発し人材を育成する。現在、多くの企業・自治体に取り組んでいるDX（Digital Transformation）に対応できる人材育成プログラムです。

### ■プログラムの概要

表1に示す科目群の全科目を履修し、単位を取得することで、以下のように段階的にマイスター認定を行います。

- ブロンズ：基本レベル。各々のプログラムに対して興味を持ち、プログラムに関する基礎的な知識や技術を身につけた場合に認定します。
- シルバー：応用レベル。各々のプログラムに対して興味を持ち、プログラムに関する発展的な知識や技術を身につけた場合に認定します。ブロンズマイスターを取得していることが条件です。
- ゴールド：実践レベル。卒業研究や学会発表などにおいて、㊟または㊠に関連する実践的な活動を行った場合に認定します。シルバーマイスターを取得していることが条件です。

表1 各プログラムの科目構成

#### ㊟環境共生型人材育成プログラム

マイスター		授業科目
ゴールド	ブロンズ	札幌を学ぶ①、自然科学A（科学史）①、デザイン工学①、自然科学C（動物の生態）①、自然科学B（環境）②、エコロジカルデザイン②
	シルバー	環境計画論②、環境芸術論②、ランドスケープアーキテクチャ③、建築設備計画③、寒冷地デザイン論③
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ④†

#### ㊠イノベーション人材育成教育プログラム

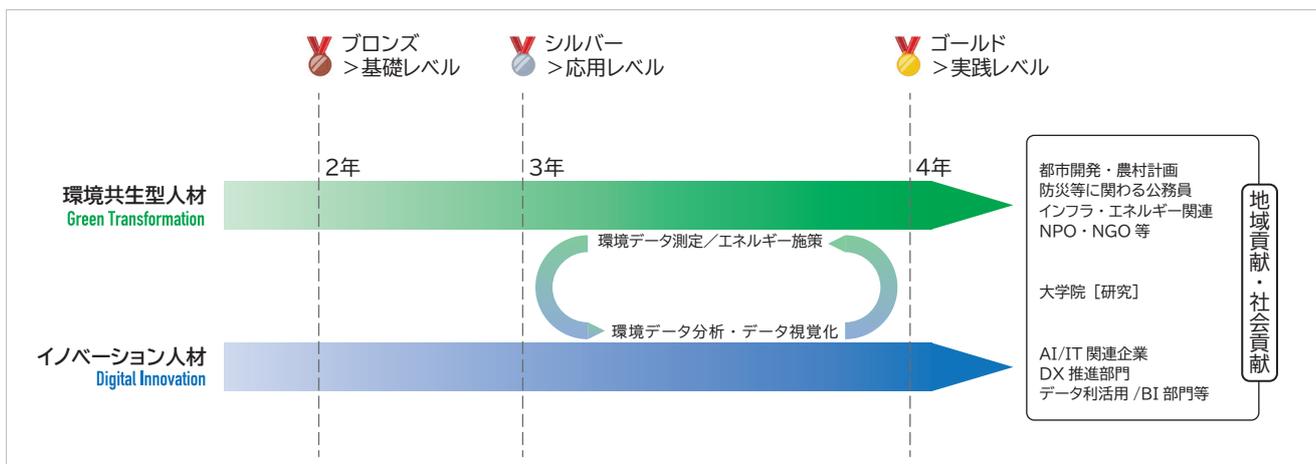
マイスター		授業科目
ゴールド	ブロンズ	情報リテラシーⅠ①、デザインと数学①、現代社会論E（情報科学）①、プログラミングⅠ②、情報社会論②
	シルバー	プログラミングⅡ②、感性情報学③、プログラミングⅢ③、ビジュアルイゼーションⅡ③、統計の世界③
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ④†

※丸付数字は授業開講学年を表しています

†学会発表（所定の条件を満たす場合）でも認定する場合があります

## ■両プログラムの関係

両プログラムはそれぞれの分野における人材育成を目的としたものであるが、図1のように◎と◎が相互に作用しながら、地域や社会の課題に対応していくことを目指すものとなっている。



## ■マイスターの認定条件

- ブロンズ | 表1に記載したすべての授業科目の単位を取得すること（ただし再試験での取得を除く）  
※2024年度以降の入学生で、2年次を修了した学生が取得可能です（最長で2025年度終了時点）。
- シルバー | 表1に記載したすべての授業科目の単位を評価B（評点70点）以上で取得すること  
※2024年度以降の入学生で、3年次を修了した学生が取得可能です（最長で2026年度終了時点）。
- ゴールド | 表1に記載したすべての授業科目（卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ）の単位を評価A（評点80点）以上で取得すること、あるいは、◎または◎に関連し、実践的×主体的な内容を含む学会発表を行うこと（ただし、筆頭者／発表者であること。なお、学会の開催地規模・査読有無は問わない）  
※2024年度以降の入学生で、4年次を修了した学生が取得可能です（最長で2027年度終了時点）。

## ■マイスター認定証

マイスターの取得者には、本学独自の認定証を発行します。